

油分散洗淨剤
BY・FAR Z
バイ・ファー ゼット

Commercial detergent BY・FAR Z series

今、水は蘇る。

油と洗剤が自然分解

一般工業用 濃縮型 中性

BY・FAR Z-M
バイ・ファー ゼット
油脂二次汚染防止 **MI** エム

鉱物油脂対象

品名	一般工業用合成洗剤 (鉱物油分散剤)	使用方法	本剤を水で3~100倍に希釈し、充分攪拌して下さい。油汚染の濃度により希釈を加減して御使用下さい。グリス状油類は、40~60度の温水を使用し、攪拌、超音波振動等を付与しますと洗浄効果は倍増します。
成分	非イオン系非腐蝕性界面活性剤系 0.5%	使用上の注意	本剤は酸・アルカリに安定ですが、ポリスチロール、アセタートの容器等は避けて下さい。また、アルミニウム類は洗浄後必ず水洗いして下さい。使用中、目に入った時は直ちに流水で目を十分に洗浄して下さい。
性状	中性 内容量 18kg		
用途	機械器具の油、塗料コンシメ、油タンク、マンホール、床面の洗浄、水産物の処理、ウエス、手拭、作業衣類の油汚れの洗浄、電子部品、基盤等の付着油の洗浄、木部、鏡子等の付着油の洗浄。		

グローブ イピー 株式会社

洗剤は、「二次汚染防止」の時代へ

環境問題が叫ばれる昨今、業務用洗剤にも環境への配慮が求められております。

油を取り除くだけでなく、排水が自然界に及ぼす影響、時間の経過と共に起こる施設への弊害などの「二次汚染」を防止するために作られたのが「BY・FAR Z」です。

「BY・FAR Z」は、その特長である「微細化」と「加水分散」により、高い洗浄力と優れた生分解性を合わせ持つ、これからの時代の業務用洗剤なのです。



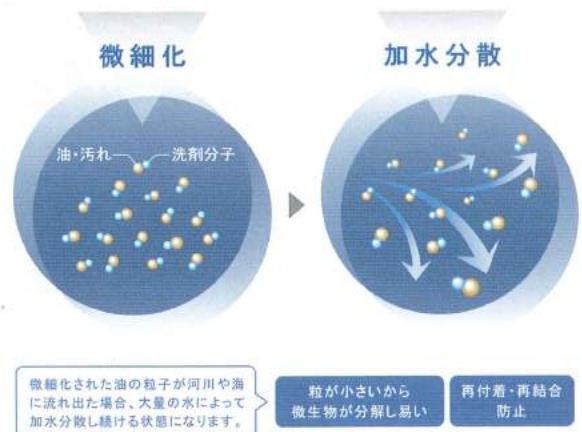
微細化+加水分散で油の物性を失わせる。

A good point

従来の洗剤とBY・FAR Zの大きな違いは、「油の物性を失わせる」ことにあります。従来品は、界面活性剤で油を取り除くことは出来ても、油の物性を失わせる事は出来ません。そのため、再結合して浮上してしまい、配管の閉塞やオイルボール、油紋が発生してしまいます。しかし、「BY・FAR Z」は、それが持つ特性によってこのような現象を阻止できるのです。

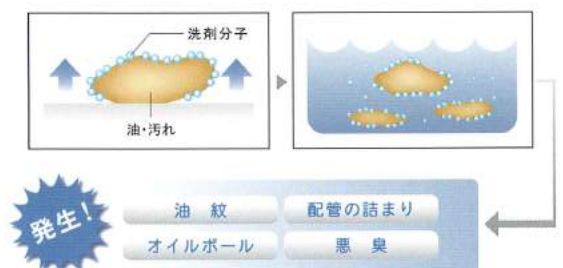
「BY・FAR Z」には、油が接触すると、油の粒子を極めて小さくしてしまう効果があります。(微細化) この「微細化」が進めば進むほど、その比重は限りなく水に近い状態になります。更に、水が加わることによって、細かくされた粒子間に水が流入し、粒子間距離が広がり、分散されます。(加水分散)

この「微細化」と「加水分散」の効果により、油はその物性を失い、再結合・再付着が出来なくなります。その結果、浮上油による油紋の発生を阻止し、結合による固化も防ぐことが出来るのです。



「二次汚染」とは？

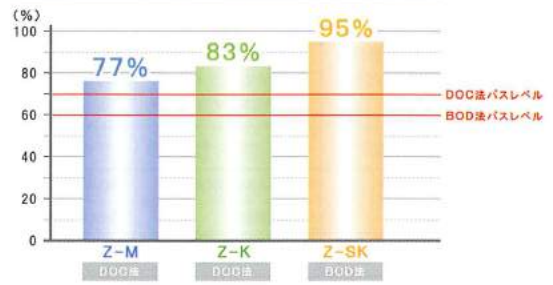
従来の洗剤は、汚れや油を高粘度状態のまま、洗剤分子で除去しようとし、汚れを剥がす力を強めるため、界面活性剤が多く必要となります。取り除いた油の粒子は大きく、微生物の分解許容範囲を超えているため、すべてを分解しきるのに時間がかかります。そして、微生物が分解しきれなかった汚れがそのまま海や河川に流れ込み、油紋やオイルボールを発生させます。また、施設内では油の固化による配管閉塞などが引き起こされるのです。



国際規格で証明された生分解性

「BY・FAR Z」は、国際規格であるOECD化学品テストガイドラインのBOD法、DOC法に基づいて生分解性の試験を行いました。この試験のパスレベルは、BOD法で60%、DOC法で70%以上であり、この基準をクリアすれば易分解性物質(=環境中で容易に生分解する物質)と判断されます。「BY・FAR Z」は、Z-Mが生分解性77%(DOC法)、Z-Kが生分解性83%(DOC法)、Z-SKが生分解性95%(BOD法)((財)日本食品分析センター分析値)と判定され、国際規格をクリアした環境対応商品です。

(財)日本食品分析センターによる生分解性審査結果



界面活性剤10%以下

一般の洗剤に含まれる界面活性剤量は、20~70%と多く使用されています。界面活性剤は自然界での分解が難しいものもあり、肌荒れ等の皮膚障害や河川の汚濁、地下水の汚染等を引き起こします。

しかし、「BY・FAR Z」に含まれている界面活性剤量はZ-Mで5.5%、Z-Kで4.9%、Z-SKで9.7%と少なく、これを希釈することで界面活性剤量は原液の希釈数量分の1になります。また、使用している界面活性剤は、自然分解し易い良質のものを厳選しておりますので、それを含めた洗剤そのものも生分解性に優れています。

エマルジョン化(乳化)なし

流出油対策として使用した場合、従来の中和剤は白濁し、油分の再凝集・浮上がありました。しかし、「BY・FAR Z」は水中に分散し、粒子間距離が広がることにより、再凝集しません。また、水系洗剤であるため、舗装や塗装面を傷めず、消防法上の備蓄制限がありません。

「BY・FAR Z」は、エマルジョン(乳化)化しませんので、道路や海・河川での油流出事故での使用に適しています。

- 使用水は、軟水、硬水、海水を問いません。
- 水系洗剤ですので、消防法上の備蓄制限がありません。
- 本剤には、ABS・LAS・リン酸塩・砒素・重金属・メチルアルコール・蛍光増白剤は含まれておりません。

使用例

Use

「汚れ」には、多種多様なものがあります。現場の汚れの程度に応じて、希釈倍率、洗浄方法等いろいろとお試し下さい。

おでん釜洗浄

Z-SK



洗浄前



洗浄後

トンネル内壁洗浄

Z-MV



ダクトフィン洗浄

Z-K

Z-KA



洗浄前



KA (5倍希釈) 洗浄中



K (5倍希釈) 洗浄中



洗浄完了

商品名	動植物油脂対象			鉱物油脂対象			
	Z-K	Z-KA	Z-SK (スーパーキッチン)	Z-M	Z-MV	Z-MA	Z-MR
用途	厨房・食肉加工・水産加工場の洗浄、床洗浄、衣類等繊維類の洗浄、事務機器・機械・計器等手指垢の洗浄、野菜果物類の洗浄。	Z-Kで落ちにくく、厨房・食肉加工・水産加工場等でこびり付いて固化した油の除去、レンジフード・換気扇・フライヤー周り等や煙草等のヤニ洗浄。	野菜果物類の洗浄、食器・調理厨房器具・什器・床・壁等の洗浄、換気扇・レンジフード・コンロ周り等の洗浄、繊維製品の洗濯、浴槽の洗浄。	機械器具・部品洗浄、脱脂洗浄、油タンク・床洗浄、作業衣・軍手等の付着油洗浄、流出油分散処理。	左記Z-M同様。消泡性に優れている為、泡を気にする現場等に使用。高圧洗浄を行うときや、道路での事故等。 消泡タイプ	Z-Mで落ちにくく、油が固化したような汚れのひどい所の洗浄。	部品通函・旋盤加工部品の洗浄、各種機器類の洗浄、機械油の付着した衣類の洗濯、工場床洗浄。
液性	中性、無色透明	強アルカリ性、無色透明	中性、微黄色、微香	中性、無色透明	中性、無色透明	強アルカリ性、無色透明	中性、微黄色、微香
成分	非イオン系界面活性剤 ヤシ油脂脂肪酸系 4.9%	非イオン系界面活性剤 ヤシ油脂脂肪酸系 4.9%	両性界面活性剤 陰イオン界面活性剤 9.7%	非イオン系界面活性剤 ヤシ油脂脂肪酸系 5.5%	非イオン系界面活性剤 ヤシ油脂脂肪酸系 5.5%	非イオン系界面活性剤 ヤシ油脂脂肪酸系 5.5%	両性界面活性剤 陰イオン界面活性剤 9.7%
発泡性	低発泡	低発泡	高発泡	低発泡	低発泡	低発泡	高発泡
使用タイプ	希釈使用	希釈使用	原液使用	希釈使用	希釈使用	希釈使用	原液使用
希釈倍率	汚れに応じて、3~100倍	汚れに応じて、3~100倍	原液使用タイプですが、汚れに応じて希釈	汚れに応じて、3~100倍	汚れに応じて、3~100倍	汚れに応じて、3~100倍	原液使用タイプですが、汚れに応じて希釈

「汚れ」には、多種多様の物がありますので、現場で希釈倍率、洗浄方法等お試しの上、ご使用下さい。

荷姿一覧 全商品共通

(左から)

- 18kgタフテナー
- 18kgロンテナー
- 4kg減用ボトル
- 1.8kgポリ容器
- 500gポリ容器
- タフテナー用コック
- ロンテナー用コック
- 4kg用ノズル

コック・ノズルは小さな容器への詰替に便利です。

折りたんで捨てられる 減用ボトル採用

当社で採用している4kg減用ボトルは、折りたんで小さくすることが出来ますので、ゴミの容積を減らし、簡単に処理できます。



安全に関するご注意

- 乳児の手の届く所には置かないで下さい。●用途以外には使用しないで下さい。●長時間使用するとき、または、荒れ性の方や敏感症の方が使用する場合は、炊事用手袋を使用して下さい。同じ条件下において、素手で使用した場合は、使用後流水で水洗いの上、ハンドクリーム等でのお手入れをお勧めします。●Z-KA、Z-MAは強アルカリですので、素手では絶対に触れないで下さい。使用時は、ゴム手袋や防護メガネを着用して下さい。万一、皮膚に触れた場合は、速やかに流水で洗い流し、異常を感じた場合は、医師の診察を受けて下さい。

【 中性洗剤使用時の応急処置 】

- 目に入った場合は、清浄な流水で5分以上洗浄し、医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合は、水またはお湯で洗い流し、皮膚に異常が出た場合は、医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合は、水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受けて下さい。

【 強アルカリ洗剤使用時の応急処置 】

- 目に入った場合は、清浄な流水で15分以上洗浄し、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合は、水またはお湯で洗い流し、皮膚に異常が出た場合は、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合は、水を多量に飲ませるか、食酢・オリーブ油・果汁等を与えて速やかに中和し、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。

保管について

【 保管上の注意 】

本剤は自然での生分解しやすい素材で製造しておりますので、保存場所の環境によっては、洗剤中の水そのものが腐敗したり、藻類が発生することがあります。冷暗所であれば二年程度の保存は可能ですが、保管場所に注意し、一年以内に使い切ってください。洗剤容器(段ボール等)に製造年月日が記してあります。

【 保存期間 】

- ・直射日光を避け、密栓し冷暗所に保管して下さい。
- ・氷点下で凍結するので、冬は凍結しない場所に保管して下さい。

発売元

ライフダクトカンパニー株式会社
〒243-0211 神奈川県厚木市三田32-1
TEL:046-243-3032 FAX:046-242-3029
<http://www.lifeduct.co.jp>
E-mail: info@lifeduct.co.jp

製造元

グローブ イピー 株式会社
<http://www.globe-ep.co.jp>